

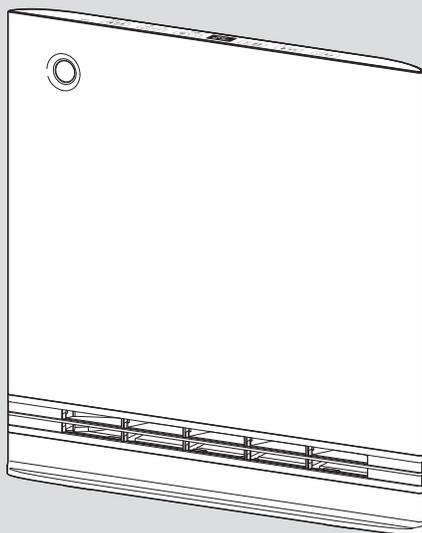
THREEUP

節電/室温センサー付 大風量*パネルセラミックヒーター スマートスリムヒート

CH-T2496

※「大風量」は当社従来品との比較です。

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…………… 1～3
- 各部のなまえ…………… 4～5
- パッケージ内容…………… 5
- 別売品…………… 5
- 仕様…………… 5

ご使用前に

- 設置について…………… 6
- リモコンについて…………… 6

ご使用方法

- 運転する(連続運転)…………… 7
- 停止する…………… 7
- 暖房運転を切り替える…………… 8
- 大風量暖房運転を使う…………… 8
- オフタイマーを使う…………… 9
- オンタイマーを使う…………… 9～10
- 温度設定を使う…………… 10
- 節電センサーモード(自動運転)…………… 11

点検・修理

- お手入れと保管方法…………… 12～13
- コンセントの点検…………… 13
- 故障かな?と思ったら…………… 14
- 保証・サービス…………… 背表紙

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様や取り扱いに不慣れな方、ご自分で体温調節のできない方だけで使ったり、触れさせたりしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

本体のすき間にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災ややけどの原因になります。



禁止

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

長時間、身体と同じ場所を温め続けしないでください。
やけどや低温やけどの原因になります。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。
過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

温風吹出口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。
衣類やカーテンなどで温風吹出口や吸気口がふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

ボタン電池を火の中に入れて、水に濡らしたりしないでください。
また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

警告

電源は必ず家庭用100V電源 (容量15A-1500W) を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちる原因や、発熱による火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグや電源コードを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-) にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。

設置場所について、P.6「設置について」を必ずご確認ください。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



必ず守る



必ず守る



接触禁止

運転中と運転停止直後は温風吹出口に触れないでください。

高温になっているため、やけどのおそれがあります。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。また、運転中に吸気フィルターを取り外さないでください。

本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、事故や故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

壁や家具の近くで使用しないでください。過熱による変形や変色、火災の原因になります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

犬や猫などのペット用には使わないでください。

ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

衣類の真下に設置しないでください。

衣類が落下すると、吸い込みによる故障の原因となります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

- 落下、転倒などにより、ケガや事故、故障の原因になります。
- 安定した水平な場所に置かれていないと転倒時自動オフスイッチが働き、運転が停止します。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- 電極 (+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

- 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
- 節電センサーが汚れていると、作動しなかったり誤作動したりする場合があります。

節電センサー部周囲の環境に注意して設置してください。

設置環境について、P.11「節電センサーモード(自動運転)」をご確認ください。

ボタン電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。

温風吹出口や吸気口の内部に指を入れてしないでください。

ケガの原因になります。



禁止



禁止



必ず守る

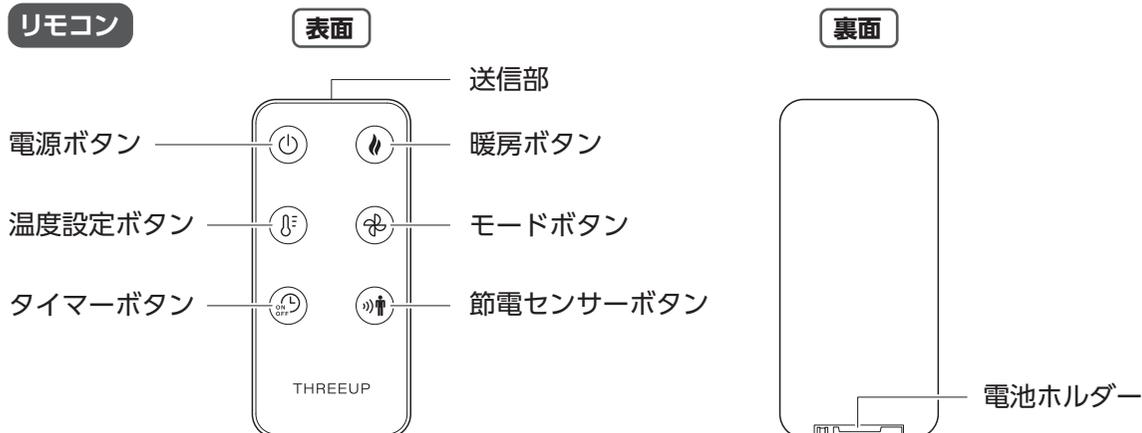


接触禁止

はじめに

■ 付属品

リモコン



パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
リモコン（CR2025リチウム電池内蔵）	1	—	—

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	商品単価（税込）
吸気フィルター	1	550 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

仕様

本体サイズ	幅38×奥行11.5×高さ38.2cm	本体重量	約2.4 kg
材質	PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	大風量暖房運転（50Hz/1200W、60Hz/1100W）、強（50Hz/1100W、60Hz/1000W）、弱/800W、節電/400W		
運転モード	ヒーター 4段階切替（大風量暖房/強/弱/節電）、節電センサー（自動運転）、温度設定（18～30℃）		
コード長	約1.5 m	節電センサー感知範囲	上下60°、左右60°（約2m）
機能	メモリー機能、減灯機能	オン/オフタイマー設定	1～8時間（1時間単位）
自動オフタイマー	10時間	安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、転倒時自動オフスイッチ
1時間あたりの電気代	約37.2円（大風量暖房/1200W連続運転時）		

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh（税込）で計算した際の目安となります。

ご使用の前に

設置について

■ 設置場所



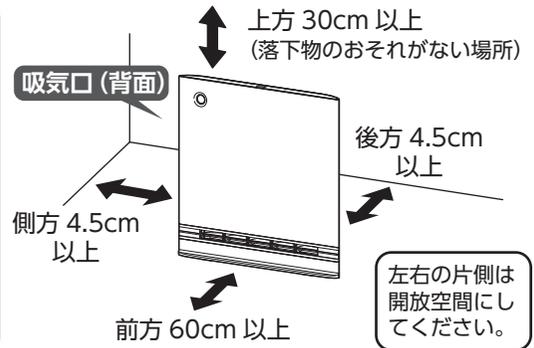
警告

右図の設置距離を必ずお守りください。

- 左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
- カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 本体背面の吸気口が壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。



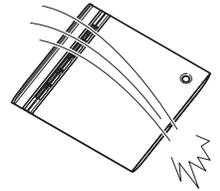
必ず守る



■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりした時に自動で運転を停止します。

- 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用の場合は、水平な床面にもう一度設置して『電源』ボタンを押してください。
- 本体を動かしたときにカラカラと音がすることがありますが、これは転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。



■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

リモコンについて

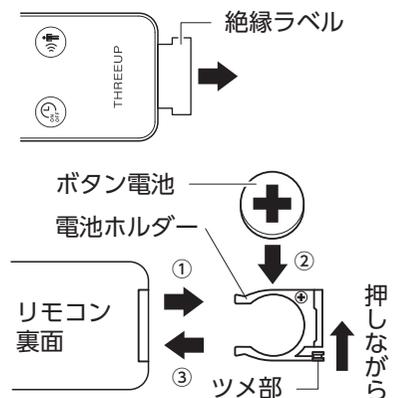
工場出荷の段階でボタン電池がセットされています。ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※製品に最初から付属しているボタン電池はテスト用のため、新しいボタン電池に比べて寿命が短い場合があります。

■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2025/3V」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。



■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約2mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。

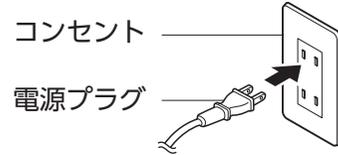


ご使用方法

運転する(連続運転)

初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分の臭いがすることや、まれに少量の煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピッピッ”と電子音が鳴って、全てのランプとディスプレイが点灯したあとに消灯し、待機状態になります。



- ② 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。
ディスプレイに周囲温度が表示され、『暖房』ランプ「弱」が点灯して、「弱」で運転を開始します。
 - ・ボタン操作時は“ピッ”と電子音が鳴ります。
 - ・周囲温度は本体に内蔵されている温度センサーが感知する温度となります。



停止する

運転中に本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。
“ピーッ”と電子音が鳴ってディスプレイ表示と各ランプが消灯し、内部冷却のため約30秒間の送風運転したあと、運転が停止します。

送風運転中は『冷却中』ランプが点灯します。送風運転が停止すると『冷却中』ランプは消灯します。



注意



必ず守る

- ・長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押し、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

自動オフタイマー機能

電源の消し忘れを防止するため、最後の操作から10時間後に自動停止します。
※節電センサーモード設定中は、自動オフタイマー機能は働きません。

減灯機能

約60秒後に減灯機能が働き、ディスプレイ表示と各ランプが暗くなります。

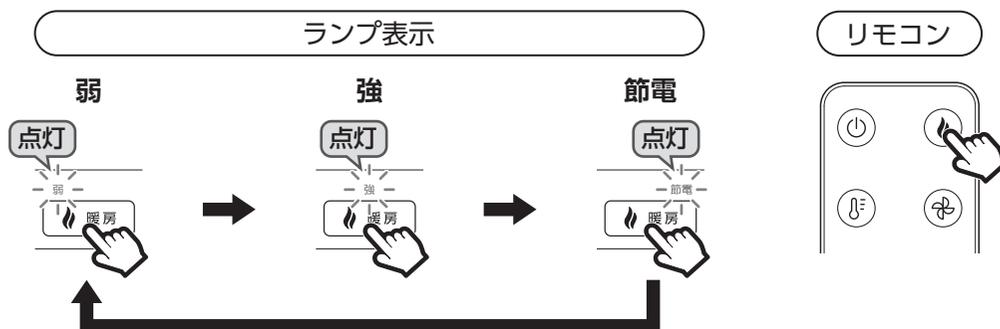
メモリー機能

一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定は除く)
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、「弱」で運転を開始します。

暖房運転を切り替える

運転中に本体またはリモコンの『暖房』ボタンを押します。

『暖房』ボタンを押すたびにヒーターの動作が「弱」、「強」、「節電」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『暖房』ランプも切り替わります。



大風量暖房運転を使う

■ 大風量暖房運転について

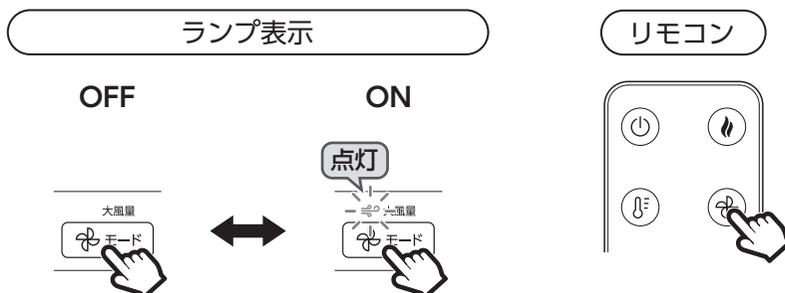
暖房運転の風量と発熱量を強くします。

■ 大風量暖房運転の設定のしかた

運転中に本体またはリモコンの『モード』ボタンを押すと、『モード』ランプが点灯して大風量暖房運転を開始します。

■ 大風量暖房運転の解除のしかた

解除する場合は『モード』ボタンを押すと、『モード』ランプが消灯して解除されます。



ご使用方法

オフタイマーを使う

■ オフタイマーについて

1～8時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーの設定のしかた

- ① 運転中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイが時間設定表示に切り替わって点滅し、『タイマー』ランプの「切」が点灯します。
- ② ディスプレイの点滅中に『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
『タイマー』ボタンを押すたびに設定時間が1時間ずつ増えます。
点滅時間は約5秒間です。点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた時間で設定されます。
- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から周囲温度表示に切り替わると、設定完了となります。

■ オフタイマーの解除のしかた

解除する場合は、ディスプレイに「--」と表示されるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押します。
『タイマー』ランプ「切」が消灯してディスプレイに周囲温度が表示されます。



メモ 温度設定と同時に設定するときのディスプレイ表示は、オフタイマーの設定完了後に周囲温度を表示します。

オンタイマーを使う

■ オンタイマーについて

1～8時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

■ オンタイマーの設定のしかた

- ① 待機中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイが時間設定表示となって点滅し、『タイマー』ランプの「入」が点灯します。
- ② ディスプレイの点滅中に『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
『タイマー』ボタンを押すたびに設定時間が1時間ずつ増えます。
点滅時間は約5秒間です。
- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。
オンタイマーの設定中は、運転が開始されるまでディスプレイに残り時間が表示され、『タイマー』ランプ「入」が点灯します。
- ④ 設定した時間が経過すると、記憶された運転モードで運転を開始します。

■ オンタイマーの解除のしかた

解除する場合は、本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押してディスプレイを点滅表示させ、「--」と表示されるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押すか、『電源』ボタンを押します。
オンタイマーの設定完了後に『電源』ボタンを押すと、オンタイマーの設定はリセットされ、運転を開始します。



メモ 温度設定と同時に設定するときのディスプレイ表示は、オンタイマーの設定完了後に設定した時間を表示します。

■ 運転開始時の動作設定と変更のしかた

『電源』ボタン以外のボタンを押すと、動作設定を変更することができます。設定した動作のランプが約5秒後に消灯すると設定完了となります。

温度設定を使う

■ 温度設定について

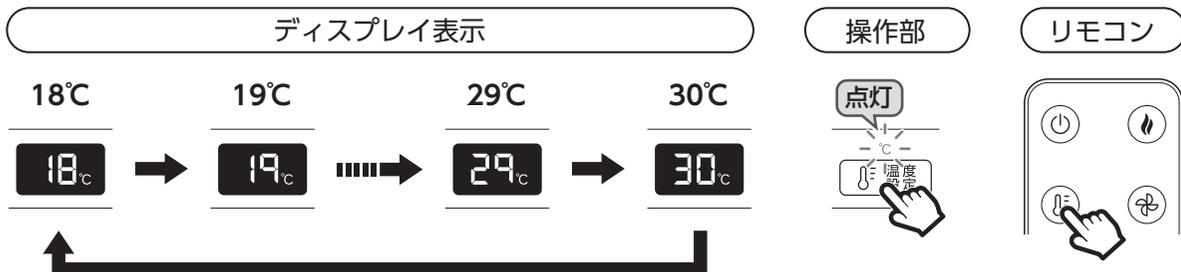
- 温度設定中は、周囲温度にあわせて自動的に運転と停止を行います。
 - 本体の周囲温度が設定温度3℃以下の場合、「弱」で運転をします。
 - 本体の周囲温度が設定温度3℃を超えた場合は、「強」で運転をします。
- 例：温度設定30℃
- | | | |
|-------------|---|-----------|
| 周囲温度30℃以上 | ⇒ | 停止 (待機状態) |
| 周囲温度29℃～27℃ | ⇒ | 「弱」で運転 |
| 周囲温度26℃以下 | ⇒ | 「強」で運転 |

※本体の周囲温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する温度となります。

- 設定可能な温度は18℃～30℃です。
- 温度設定中は、ヒーターの動作（「弱」、「強」、「節電」）を切り替えることはできません。

■ 温度設定のしかた

- ① 運転中に本体またはリモコンの『温度設定』ボタンを押します。
ディスプレイが設定表示に切り替わって点滅し、『温度設定』ランプが点灯します。
- ② ディスプレイの点滅中に『温度設定』ボタンを押して温度を設定します。
『温度設定』ボタンを押すたびに設定温度が1℃ずつ上がります。
点滅時間は約5秒間です。点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた温度で設定されます。
- ③ 温度を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から周囲温度表示に切り替わると、設定完了となります。



■ 温度設定の解除のしかた

解除する場合は、『暖房』ボタンまたは『モード』ボタンを押します。
『温度設定』ランプが消灯し、暖房運転に切り替わります。

ご使用方法

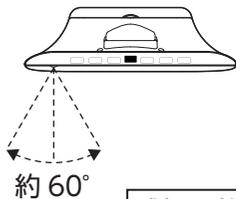
節電センサーモード(自動運転)

■ 節電センサーモードについて

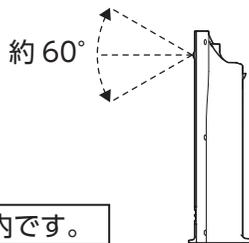
節電センサーモードは人の動きを感知して、自動的に運転・停止を行います。

■ 節電センサーの感知範囲

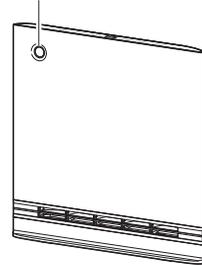
左右方向 感知範囲



上下方向 感知範囲



節電センサー



感知距離は、約2m以内です。

■ 設置環境

● 節電センサーの特性上、次のような場所では作動しなかったり、誤作動したりする場合があります。

- カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
- 節電センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
- エアコンなどの送風を受ける場所
- 温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
- 湿度の高い場所や加湿器の近く

● 人がいても、ゆっくりとした動きや速い動き、小さい動き、じっとしているときなどには節電センサーは感知しません。

● ペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

■ 節電センサーモードを設定する

運転中に本体またはリモコンの『節電センサー』ボタンを押します。

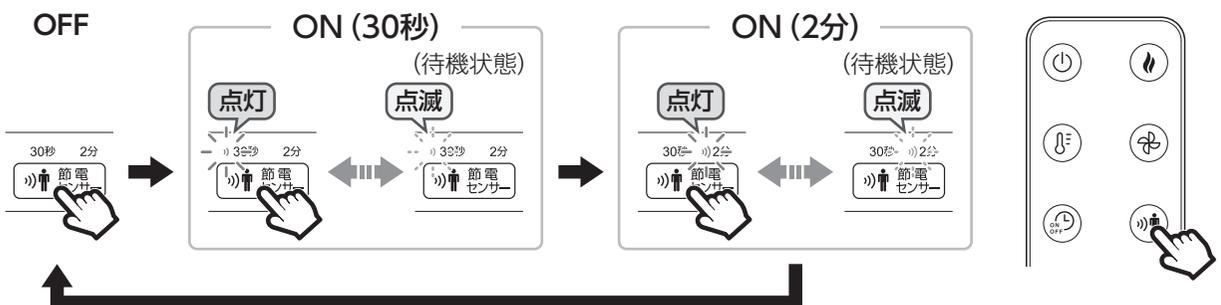
『節電センサー』ボタンを押すたびに節電センサーモードが「ON(30秒)」、「ON(2分)」、「OFF」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『節電センサー』ランプも切り替わります。

メモ

- 節電センサーモードが「ON(30秒)」設定時は30秒、「ON(2分)」設定時は2分間、連続で人を感知しないと「節電センサー」ランプが点滅して待機状態となり、送風運転(約30秒間)したあとに運転を停止します。待機中に節電センサーが人を感知すると"ピッ"と電子音が鳴り、運転を再開します。
- 送風運転中は『冷却中』ランプが点灯します。送風運転が停止すると『冷却中』ランプは消灯します。

『節電センサー』ランプ表示

リモコン



お手入れと保管方法

警告



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分に冷えてからお手入れをしてください。
感電やケガ、やけどの原因になります。

■ 本体と節電センサーのお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、十分に乾かしてください。

お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



■ 温風吹出口のお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

温風吹出口の変色について

ご使用方法、ご使用状況によっては温風吹出口が変色する場合がありますが、性能や安全性に問題はありません。

また変色や変形の原因になりますので、次のようなご使用方法はお避けください。

- 温風吹出口、吸気口、吸気フィルターにホコリが詰まった状態での使用。
- 吸気口、温風吹出口付近に障害物がある状態での使用
- 机の下など狭く囲まれた場所での使用

■ 吸気口のお手入れ

お願い

吸気口および吸気フィルターは、本機の性能を維持するため、2週間に1回以上お手入れをしてください。

フィルターカバーを取り外してお手入れをしてください。

- ① フィルターカバーの取っ手に指を掛け、手前に引いて取り外します。
- ② フィルターカバーから吸気フィルターを取り外します。
- ③ 各部のお手入れをします。

フィルターカバーのお手入れ

本体と同じ方法でお手入れをしてください。

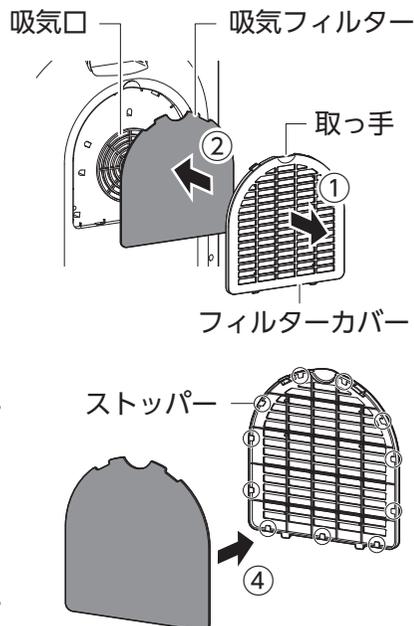
吸気フィルターのお手入れ

水洗いをしてください。掃除機でのお手入れは吸気フィルターが破れたり、吸い込まれたりするおそれがありますので、お避けください。お手入れ後は陰干しして十分に乾かしてください。

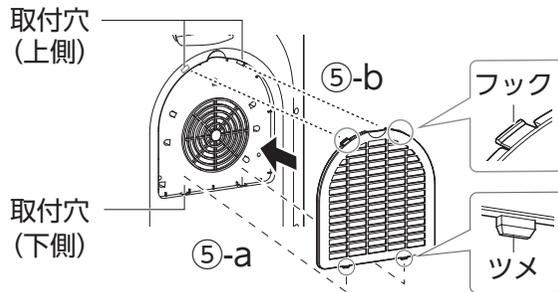
吸気口のお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

- ④ 吸気フィルターをフィルターカバーに装着します。
フィルターカバー内側のストッパー(11か所)に引っ掛けてください。



- ⑤ フィルターカバーを本体に取り付けます。
- フィルターカバー底面のツメ (2か所) を、本体下側の取付穴に差し込みます。
 - フィルターカバーのフック (2か所) を、本体上側の取付穴に引っかけます。



■ 吸気フィルターの交換時期

吸気フィルターが破れたり、汚れがひどくなったりした場合などは交換してください。
吸気フィルターをお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

■ 保管について

- お手入れのあと、各部の水分をよく拭き取り、陰干しして十分乾燥させてください。
湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極 (+/-) にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- 本体にポリ袋をかぶせてお買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

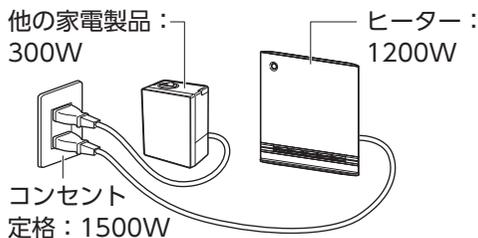
コンセントの点検

● コンセントなどの配線器具には寿命があります。

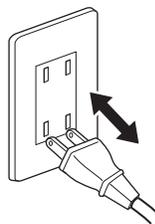
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

誤った使いかたの例

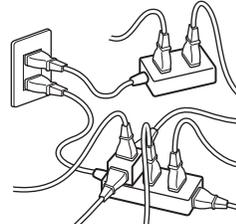
× 定格容量いっぱいで使用する



× 電源プラグを斜めに抜き差しする



× タコ足配線する



● 下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- 電源プラグの抜き差しがゆるい。
 - 電源プラグやコンセントが熱い。
 - 表面が変形 (ふくれ、ヒビ割れなど) している。
 - 表面が変色、焦げあとがある。
- そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。

⚠ 注意



破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。
焼損や火災、事故の原因となります。



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが外れている。 電源が「OFF」になっている。 安定した水平な場所に置かれていない。 (転倒時自動オフスイッチが働いている) 内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。 『電源』ボタンを押してください。 安定した平らな床面でお使いください。 本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてから再度運転をしてください。
温風がでない	<ul style="list-style-type: none"> 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。 節電センサーモードまたは温度設定を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口のお手入れをしてください。 設定中のモードを切り替えて、ご確認ください。
電源を切っても停止しない	<ul style="list-style-type: none"> 運転停止直後である。 	<ul style="list-style-type: none"> 運転停止直後は、ヒーターの冷却のため約30秒送風が続きます。故障ではありません。
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に設置している。 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安定した水平な場所に設置してください。 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口のお手入れをしてください。
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> はじめて運転をしたため。 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> はじめてご使用になる時は、においや、まれに少量の煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になります。 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口のお手入れをしてください。
節電センサーが感知しない	<ul style="list-style-type: none"> 節電センサーモードに設定されていない。 節電センサーが汚れている。 節電センサーに直射日光が当たる場所や、カーテンなど風で揺れるものの近くに設置している。 節電センサーの感知範囲を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 『節電センサー』ボタンを押して節電センサーモードに切り替えてください。 節電センサーのお手入れをしてください。(定期的にお手入れをしてください。) 設置環境について、P.11「節電センサーモード(自動運転)」をご確認ください。 節電センサー感知範囲内でお使いください。(上下60°、左右60°、感知距離2m以内)
電源が切れた	<ul style="list-style-type: none"> 自動オフタイマーが作動した。 	<ul style="list-style-type: none"> 『電源』ボタンを押して運転を再開してください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。

長年ご使用のヒーターはよく点検を行ってください。

●このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが破損した。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。